

平成 30 年 12 月吉日

施設長殿

「医療安全管理者の業務実態および研修に対するニーズ」調査協力をお願い

謹啓 初冬の候、貴院におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私どもは厚生労働科学研究費の補助を得て「**今後の医療安全管理者の業務と医療安全管理者養成方法の検討のための研究**」に取り組んでおります。

医療安全管理は、医療の質、病院経営および国民意識の高まりなどから益々重要な課題となっています。その一方で現場の医療安全管理者を配置する際や医療安全を養成する際の指針である「**医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針**」（以下、現行指針）は、平成 19 年 3 月に策定された後、改訂が行われていません。そこで策定後 10 年余りを経過した現行指針を見直し、制度の変化や社会ニーズに対応した指針に改訂する必要があると考えております。

そこで、医療安全管理者の業務の実態および医療安全管理者を養成するための研修の現状や課題を明らかにしたいと考え、「**医療安全管理者の業務実態および研修に対するニーズ**」をテーマとした実態調査を下記のように計画しました。様々な場における医療安全管理業務について把握するため、貴施設の医療安全を担当している職員にも今回の調査にぜひご参加いただきたく、ご依頼申し上げます。

下記をご確認の上、本研究への協力をご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

■研究課題：医療安全管理者の業務実態および研修に対するニーズ

■調査期間：2018 年 12 月 7 日（金）～12 月 28 日（金）

■調査対象者：医療機関に勤務する医療安全管理の担当者 1 名（医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全に関する実務を担当している者、等）

貴施設の医療安全対策に精通している方をお願い致します（職種や医療安全管理の担当者としての経験年数等の条件はございません）。

■調査内容：回答者および所属施設の属性、所属施設の医療安全管理体制、医療安全に関する業務の実情と業務に対する認識

■調査方法：WEB 調査

※別紙調査対象者様宛の依頼文書をご推薦の医療安全管理者の方にお渡しください。WEB調査の URL を記載しております。

【倫理的な配慮】

1. 研究への協力は自由意思により決定するものです。本調査に参加しないことによるご迷惑をおかけすることは一切ございません。調査は無記名であり、施設や個人が特定されることはありません。
2. 調査にかかる時間は約 10 分です。
3. 回答者によるサーバーへのアクセス情報は収集いたしません。回答者を特定することができないため、回答送信後の協力辞退はできないことをご承知おきください。
4. 回答者からのデータは厳重に管理し、本調査の目的外には使用しません。
5. この研究は厚生労働科学研究費で実施されます。調査結果は報告書にまとめ、厚生労働省に提出いたします。また調査期間終了後、論文を作成し、医療系学会等で公表する予定です。公表にあたり個人や施設が特定されることはございません。

以上についてご確認いただき、貴施設の倫理規定に基づきご検討の上、本調査への協力をご了承いただきますよう、お願い申し上げます。また、本調査に関して、ご質問やご意見、ご要望等がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。担当者が説明・対応させていただきます。

なお、本調査は東京医療保健大学ヒトに関する研究倫理委員会の承認を得て実施致します（承認番号：教 30-24A）。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

■研究実施者

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金・地域医療基盤開発推進研究事業「今後の医療安全管理者の業務と医療安全管理者養成方法の検討のための研究」

研究代表者：宮崎久義（日本医療マネジメント学会 理事長）

研究分担者：坂本すが・末永由理・佐々木美奈子・中山純果・本谷園子（東京医療保健大学）

【本研究に関する問い合わせ先】

氏名：末永由理

所属：東京医療保健大学医療保健学部看護学科

〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-14

TEL 03-5421-7656（内線 304）y-suenaga@thcu.ac.jp